

青木村のあけぼの

— 縄文・弥生時代 —



青木村にはいつごろから人が
住み始めたのでしょうか。
そしてその人たちは、何を食べて、
どのような道具を使って
暮らしていたのでしょうか。
大昔の人々が残した
土器や石器を手がかりに、
縄文・弥生時代の青木村の
人々の生活を考えてみよう！

令和6年 7.20 土
2024
~ 令和6年 10.6 日
2024

信州・青木村
五島慶太未来創造館
〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3
TEL・FAX 0268-49-0303

【開館時間】午前9時~午後5時(最終入館 午後4時30分)
【休館日】月曜日・祝日の翌日・年末年始
(※祝日翌日の休館については、振替休日等により変則的に
なる場合があります。電話・ホームページでご確認ください。)
【入館料】無料
【アクセス】車▶上信越自動車道 上田菅平ICより車で30分
長野自動車道 麻績ICより車で30分
公共交通機関▶JR北陸新幹線 上田駅より
千曲バス青木線・青木行きに乗り(30分)
終点「青木バスターミナル」から徒歩5分



大昔の人々が残した色々な形の
土器や石器が待ってるよ！

古代の道具を使って楽しむイベント

8.2 金 午前10時~12時 縄文・弥生の生活を体験! 古代人の道具を使ってみよう
8.18 日 午前9時~午後4時 土器の模様を楽しむワークショップ カラフルなドキモドキをつくろう



青木村のあけぼの

— 縄文・弥生時代 —

令和6年 7.20 土
2024
~ 令和6年 10.6 日
2024

今から16,000年ほど前から始まり10,000年ほど続いた縄文時代。
和田峠から八ヶ岳にかけて大きな黒曜石の産地があった長野県には、多くの人やモノが集まり、
当時はとても栄えていたと考えられています。青木村でも、土器や黒曜石の石鏃などが出土しています。
大昔の人々が残してくれたモノを手掛かりに、当時の人々がどのようなものを食べて、何を着て、
どんな道具を使って暮らしていたのかを考えてみましょう。

縄文・弥生時代の人が残したモノを見て考えてみよう!

縄文土器の模様はどうやってつけたのかな?

何のための道具だろう?

いろんな顔があるね!

弥生土器は模様がシンプル

縄文・弥生時代のくらしを体験してみよう!

いつでもOK 縄文時代の人々の暮らしを知る 色々な形が面白い★土器の展示

いつでもOK 縄文時代の衣装を着て 縄文人になって写真を撮ろう☆

8.2 金 午前10時~12時 縄文・弥生の生活を体験! 古代人の道具を使ってみよう

8.18 日 午前9時~午後4時 土器の模様を楽しむワークショップ カラフルなドキモドキをつくろう



信州・青木村
五島慶太未来創造館
〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3
TEL・FAX 0268-49-0303

【開館時間】午前9時~午後5時(最終入館 午後4時30分)
【休館日】月曜日・祝日の翌日・年末年始
(※祝日翌日の休館については、振替休日等により変則的に
なる場合があります。電話・ホームページでご確認ください。)
【入館料】無料
【アクセス】車▶上信越自動車道 上田菅平ICより車で30分
長野自動車道 麻績ICより車で30分
公共交通機関▶JR北陸新幹線 上田駅より
千曲バス青木線・青木行きに乗り(30分)
終点「青木バスターミナル」から徒歩5分



五島慶太未来創造館